

【今年度の取組目標等に関する自己評価】

① 学習指導

【成果】

- 教務部が計画的に授業公開日等に合わせ、教員相互や若手の授業参観ができる校内体制を構築し、学習指導の向上に努めた。
- 英検受験者を前年度比、約5倍に増加させた。

【課題】

- ICT教育の活性化、オンライン教育の充実を図るとともに、一人1台端末の活用の推進を図る。
- 英検資格取得合格者の増加策を推進し、英語教育の推進を図る。

・数値目標(カッコ内は目標値)

英語の合格者数	:	2級3名(5名)
	:	準2級6名(5名)
	:	3級5名(20名)

② 進路指導

【成果】

- 本校独自の系統的進路指導「夢・人プラン」は安定的に推進することができた。
- リテラシ検定は、おおむね目標値を上回った。
- 進路指導に対する生徒の肯定的評価は、昨年度68%から82%に改善された。

【課題】

- 進路決定率は、91.5%で微増、9割を維持している。
- 模試等を活用した進学指導の充実を図る。

・数値目標(カッコ内は目標値)

大学・短大進学率	:	48.1%(45%)
生徒の進路決定率	:	91.5%(90%)
生徒の進路指導に関する肯定的評価	:	82.0%(70%)
検定試験(リテラス)の合格者数	:	準2級121名(120名)
		3級114名(200名)
		準3級14名(30名)

③ 生活指導

【成果】

- 「生徒指導提要」を踏まえ、組織的かつ段階的な指導を推進することで、規範意識の醸成を図った。

【課題】

- 身だしなみ指導における、日常的な取組みに創意・工夫が求められている。
- 問題行動の背景の理解をさらに深める必要がある。

・数値目標(カッコ内は目標値)

生徒の特別指導件数	:	17件(10件以下)
-----------	---	------------

④ 特別活動・部活動

【成果】

- 体育祭は、保護者等の参観者可能とし、全学年合同で完全実施することが定着した。
- 文化祭は、来校者を招き、全学年合同で完全実施することが定着した。

【課題】

- 部活動加入率は、前年比増加し活発化している。

・数値目標(カッコ内は目標値)

部活動加入率 :74% (60%)

⑤ 心身の健康づくりの推進

【成果】

- 性に関する講話等を通して、知識等の理解がさらに深まった。

【課題】

- 特別支援教育に関する理解を、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が連携し深めているが、更なるより組織的な体制の構築が必要である。

⑥ 募集・広報活動

【成果】

- 学校HP（Xを含む。）の【今日の練高】より、ほぼ毎日の本校の情報発信を安定的に発信することができた。
- 学校説明会等への参加者は、ほぼ横ばいである。
運営は、部活動生徒が中心であった行えた。
- 入選倍率は、中進対、推薦入試、一次入試とやや低下した。

【課題】

- 入選倍率は、中進対、推薦入試、一次入試とほぼ横ばいであった。
- 引き続き本校の魅力発信の強化に努める必要がある。

・数値目標(カッコ内は目標値)

学校 HP 更新回数 :330 回(300 回)

⑦ 学校経営等

【成果】

- 学校全体で、保護者対応を含め、生徒指導に取り組むことにより、大きな問題行動や苦情は減少傾向にある。

【課題】

- 生徒の弱さに寄り添った丁寧な指導による学校改善(特別指導数減少、入試倍率向上)を更に推進し、中退者数を減少させる取組を強化する必要がある。
- 文武両道を実践している生徒の活躍の場をさらに積極的に与え、学校改善を推進したい。
- グローバル人材の育成を目指し、本校の特色化を図る。

⑧ ライフワークバランスの実現

【課題】

- 勤務時間外の在校時間を減少させるため、教員の個別事情をしっかりと把握し、学校経営にあたることが求められている。